

光明小学校区教育環境適正化検討委員会

第2回 会議概要

開催日時	令和6年(2024年)12月3日(火)8:45~9:30
開催場所	光明小学校 4階 多目的室
出席者	【委員】出席16名 (欠席)5名 【教育委員会事務局】出席4名
次第・議事	1 前回会議の議事録の確認 2 意見のとりまとめ結果について 3 今後のスケジュール(案) 4 参考
会議の主な結果	① 6年生に対してどこまで情報が伝わっているか心配であることから、今後のスケジュールを示し、進学先の中学校について検討しておいてもらえるような通知を送付する。 ② 6年生以外の学年についても、高司中への校区変更と宝塚第一中への就学も選択可能となる経過措置についてお知らせをする。また、学校選択の手続き時期についても予め周知をする。 ③ 近い高司中に一緒に行きたい、宝塚第一中に行きたいということで居住地を選んだという、この2点の思いについて、地域としてのご意見であることから、現時点では経過措置の期間を設けず、地域の思いに寄り添って方向性を決めていく。 ④ 問合せ先は、教育委員会とし、いただいたご意見については丁寧に対応し、教育委員会の会議や教育環境審議会にしっかりとお伝えし、皆様の意見が少しでも反映された方向性になるように努めていく。
会議録(要旨)	
事務局	開会 ～資料確認～ ～挨拶～ ～発言時のお願い～
事務局	1 前回会議の議事録の確認 委員の皆さまに、議事録確認の連絡をさせていただきたい。確認時には委員の名前を記載しているが、ホームページ等で公開する際には、名前は伏せた形で公開するので、ご協力をよろしくお願いする。 資料2ページ 光明小学校から進学する中学校についての意見取りまとめ結果について (1)これまでの経過

委員	前回もお伝えしたが、概要を記載している。 (2) 意見聴取について ① 光明小学校 PTA が実施したアンケート(令和5年10月から11月頃に実施) ② 教育環境整備課が実施した説明会等 前回の再掲に加え、 iii) 光明小学校区教育環境適正化検討委員会11月5日 を追記している。 資料3ページ 【これまでいただいたご意見(抜粋)】 (1) PTA 実施アンケート(1回目) (2) PTA 実施アンケート(2回目) (3) PTA、保護者からの意見 (4) 地域住民(未就学児世帯を含む)からの意見 (5) 光明小学校区適正化検討委員会で出た意見 様々のご意見いただいた中で、光明小学校から進学する中学校についての質問を中心に記載している。 戻りまして資料2ページ 2 意見の取りまとめ結果 大きくは3つの意見があるとしてまとめている。 ① みんな同じ中学校への就学を希望する。 ② 距離的に近い高司中学校への就学を希望する。 ③ 宝塚第一中学校への就学を希望して宝塚第一中学校区に居住した世帯もいることから一定配慮が必要である。 戻りまして資料1ページ 3 今後のスケジュール(案) ① 12月24日 宝塚市教育環境審議会に諮問 ② 12月25日 光明小学校6年生を対象に就学学校変更の案内を送付 12月24日の教育環境審議会に、光明小学校から進学する中学校について、地域の意見として、3つに取りまとめた意見を説明した上で諮問し、それに関して答申をいただく予定である。この教育環境審議会で方向性が定まれば、12月25日に光明小学校6年生を対象に案内を送付する流れを想定している。 これまでの経過を読むと、PTAの声、PTAのアンケートから始まったというような印象を受けるが、20年ほど前から、時には高司中学校に進学するのが1人で、あとは宝塚第一中学校へ進学で、保護者から変えてもらえないかというような連絡がきたケースがあった。以前から教育委員会の中で検討があったという事実を、皆さんに理解していただけたらと思う。
----	--

委員	過去の議事録を拝見すると、やはり通学途上の交通量に対する心配のご意見があったので説明させていただく。現在、荒地西山線が工事中だが、令和9年に開通するとこちらの方にも流れてくる車が非常に増えると予測される。そういうことからすると、宝塚第一中学校に行くよりは、高司中学校へ行く方が通学路としては非常に安心という気がする。
委員	1月の入学説明会の対象は小学6年生だけか。前もって説明を聞きたい5年生以下の保護者もいると思うがどうか。
委員	入学説明会では、入学に向けての手続きが中心で、こういうものを用意してください、といった説明になる。学校についての説明はわずかで、それは私学の入学説明会とは大きく異なるため、5年生以下の保護者の聞きたいような内容ではないように思う。それよりはオープンスクールとかいろんな行事とかに参加された方が学校の良さがよく分かるのかなと思う。
委員	今の時点で、6年生の保護者にどこまで情報が伝わっているのかが気になる。4月末に最初に校区変更について伝えられたと思うが、その後はどうか。12月25日に答えを出してくださいということか。
事務局	スケジュール的な詳細を申し上げると、12月20日の教育委員会で教育環境審議会への諮問内容が確定し、12月24日の当該審議会に諮問し、答申を受ける。 厳密に言うと校区は規則で定められており、規則改正にはまた教育委員会での議決が必要になるため、1月17日開催の教育委員会で最終決定となる。 ただ、準備行為ということで、事前に手続きを進めていくということも可能で、できる限り早い時期に保護者にはお知らせをしていきたいと思う。 12月25日にすぐに答えを出してくださいということではなく、目安としては中学校の入学説明会ぐらいまでには、一定のお答えをいただければと考えている。その辺のスケジュールを出して、皆さん、お考えをまとめておいてくださいというような周知をしていきたい。
委員	その間に、保護者が質問したいこと等あればできるのか。
事務局	可能である。お知らせに問合せ先を明記しておく。
委員	行きたい学校を説明会までに決めて、そちらの説明会に行けばよいのか。迷っている段階であれば、説明会に行くのは無意味か。
事務局	その頃にはお答えをいただいている状態と考えている。例年、1月中旬に就学通知書が発送される。基本的にその段階である程度人数を確定しないと、教員の配置にも大きく影響してくる。教員の配置を県に申請しないといけないため、この頃には人数が特定されていることが望ましい。ただ、いろんな事情の中で、変更がある場合には対応していきたいが、この時点で大勢の人が変更してしまうと学級数に大きな変動が起きてしまうため、そうはならないようにしたい。

委員	保護者への案内後、冬休みも入ってくるので、おそらくもう学校の様子を知る機会がないと思うが、もし迷っているという場合、参観やオープンスクールという形でなくとも、日常の学校の様子を見に行くことは可能なのか。
委員	5月14日の会でお知らせして以降から6年生の保護者は考えている。学級参観後の懇談時に残られてどうするこうするという話をされていたり、オープンスクールに行っただったという情報交換もされていたりする。子どもたちも給食の時間にどっち行くこっち行くと言って、手を挙げたりというような様子もあり、ほぼほぼ決まっているようである。 1件、宝塚第一中学校に行こうと思って家を買っていたが、子どもが友達と高司中学校に行くとはいえ、子どもの意見を尊重すべきなのか、もう親の意見で決めるのかというあたりでの迷いがあるという相談は聞いている。 そういうわけで、最後の最後に揺れるかもしれないが、もちろん学校は見学等柔軟に対応するとは以前から言っている。 問合せについても、5月の段階から、質問があれば教育委員会にと問合せ窓口を1本化して周知しており、数件何度かやりとりされた方もいらっしゃるという。
委員	昨今、社会現象として人口が減少しており、この現象はしばらく続くと思う。これからあちこちでこのように学校を統合していかないといけなくなり、親たちは寂しい思いををすると思う。今、宝塚市でこういう状況になっているのはここだけか。まず宝塚で一番にここが当たっているのか。 現役之母でない私が光明小学校の皆さんに言うのは辛いけれども、勇気を出して従わざるをえない部分もあるのかなと思う。頑張ろう、行ってやろうじゃないかっていう方向性も大切と思う。
事務局	今回のお話は進学する中学校をどうしていこうかということであるから、学校を減らしていくという統合といったお話とは異なる。 このような校区変更が、他の地域でもあったのかどうかということで言うと、基本的に学校が新設されればそれに伴って校区が新たに設定されるが、平成6年に山手台小学校中学校が新設されて以降、学校の新設はなく、大規模な校区変更というものはない。ただ今回のように、一部、小学校区そのものではなくて、進学する中学校が変わったりというのは、御殿山であったり中筋山手であったり、そうしたいくつかの地域で近年でも校区変更はあった。 先ほどお話にあったように、荒地西山線ができてくることによって、地域の交通の流れが変わる。過去には、中津浜線ができたことによっても交通の流れが変わった。そのように幹線道路ができることによって、校区の見直しというのも必然になってきたりするので、校区とは不変的なものではない。永遠にずっと続くものではなく、その時の状況によって変わっていく。本来の性質がそういうものだということである。 先ほどもあったようにPTAのアンケートがきっかけになったわけではなく、この課題というのは、このような検討会を開いてはなかったが、個々の保護者や子どもからの要望は10数年ほど前からずっと寄せられていたことを受けて、今回動き出したということである。 また、決して学校統合ということではないという一方で、学校統合というのは確かに必然的なことになりつつある。今の学校数は子どもの数のピーク時に合わせて建設されているが、今はピ

	ーク時の60%ほどで4割減っている。全国的には50%を切っているので、宝塚の減り方は全国平均から比べると少なだからではあるのだが、それでも子どもが減っていることは事実である。そういうことを考えていくと、やはり学校の数の適正化というものは、今後大きな議題にはなってくる。ただ、今の段階ではそこまで具体的な方向性というものはない。
委員	今年度、急遽校区を変更するということにあたって、結構時間がタイトな感じで進んでいたかなと思うが、来年度以降は今回よりはもっと緩やかなペースで決断できればと思う。6年生でない保護者はまだあまり話を聞けていない現状があったりと思うので、在学年に対しても見通しを立てやすいようスケジュール等を示してほしい。
事務局	今年は初年度で、スケジュール的にタイトな流れであるが、今後のスケジュールでは、他の地域と合わせてとなる。このように校区変更した場合に、緩和措置・経過措置として、従前の学校に行けるという措置はどこの地域でもっており、その希望調査を小学校の場合は、新1年生の就学時健康診断が10月からあるために夏ぐらいに意向調査をしている。中学校はだいたい秋ごろに向けて意向調査を行っているので、今後はそんなスケジュールでお知らせをすることになる。
委員	12月25日に6年生を対象に就学学校変更の案内を送付とあるが、他の学年の方には、いつこのようなお知らせが届くのか。
事務局	意向調査は、当該学年のみが対象だが、全体的な校区変更をすとか、緩和措置・経過措置として宝塚第一中学校を選択することができるというような制度改正に関することは、在校生や地域とも広く関係することから、それは全員に対してお知らせすべきであるので、地域の意見としての取りまとめも含めて、全校生を対象にお知らせしていく。 時間が来たので、最終的な確認・まとめであるが、近い高司中学校と一緒にいきたいという思い、それと宝塚第一中学校だからということでお住まいになったという思い、この2点については、地域としての皆さん方のご意見であるから、そこはしっかりと受けとめて、方向性を決めていきたい。 宝塚第一中学校に行きたいという思いの方が、ずっと宝塚第一中学校に行けるようにというところ、期限を設けることについて、今までの説明会の中でいろんなご意見があった。先ほど少し学校統合の話も出たが、近いうちにはやはり宝塚市全域の中で学校のあり方というものが見直される時期が出てこようかと思う。今すぐに学校の数が変わるということではないが、一定の方向性が示されて具体的な検討が始まっていく時が来る。その時に合わせて終期を検討すればいいことなのかなとも思うので、今ここで終期を定めることはせず、皆さんの思いに十分に寄り添った方向性を示していきたい。 そういうことを地域のご意見として取りまとめさせていただき、教育環境審議会に諮問していき、途中経過についてはしっかりとお知らせしていく。 問合せは、教育委員会に一括し、いただいたご意見については丁寧に対応していき、教育委員会の会議であったり、教育環境審議会であったり、しっかりとお伝えすることによって、皆様の意見が少しでも反映された方向性になるように努めていくので、今後も引き続きよろしくお願い

事務局	する。 それでは、以上で本日の光明小学校区教育環境適正化検討委員会の方を終了させていただきます。本日はお忙しいところ誠にありがとうございました。
-----	--